

10 士業合同「くらしのよろず無料相談会」に参加 司法書士やFP等とのコラボ相談で学び多き1日に

去る11月23日10時～15時、とかちプラザ大集会室にて開催された「くらしのよろず無料相談会」に社会福祉士会十勝地区支部として初めて参加しました。

私たち社会福祉士のほか、弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（FP）・税理士・建築士・土地家屋調査士・宅地建物取引士の職能団体から50名を超える相談員が参集。

初参加の十勝地区支部からは、NPO法人地域福祉支援センターちいさな手・清野光彦会員、合同会社グルポツケ・久保明会員、帯広市自立相談支援センターふらっと山口芳伸会員、地域包括支援センター帯広至心寮川向優子会員、帯広第一病院 川元希会員、帯広厚生病院有塚亜



美会員、特別養護老人ホーム芽室けいせい苑 東村智之会員が相談員として参加。

受付でFPがインテークをし、主訴に応じて単独・あるいは複数の士業に声をかけ、会場全体で10ヶ所ある相談ブースに移動し相談対応。相談を受ける中で必要あらば追加で他士業に声をかける…。まさにワンストップの総合相談体制でした。

相談者は、「介護と相続」「医療と住宅問題」「生活困窮と生活設計」等複合的な支援を必要とする方が多く、社会福祉士が呼ばれた相談は、社会福祉士と司法書士、社会福祉士と弁護士、社会福祉士とFP等全て

が他士業とのコラボ相談でした。

相談員として活動したある会員は、「どんな相談がくるのか、社会福祉士として他士業の方とうまくライブで役割分担しながらできるか…等不安でした。しかし、他士業の方と一緒に相談を受けることで、改めて社会福祉士の必要性や社会的責任を実感でき、参加して良かったです…」と話してくれました。

会場は開始前から終了時間まで、途絶えることなく相談者が来場。最終的には5時間で50数件の相談がありました。

参加した会員の中で話した目標は、「受付でのインテーク面接の役割を担えること」。そのために私たちは、保健・医療・福祉に関する知識等はもちろん、さまざまな視点から生活を支える各士業の専門性を理解していかなければいけないと感じています。参加頂いた会員の皆様、お疲れ様でした。来年度は是非、新たな会員の皆様の参加をお待ちしております。（東村）

